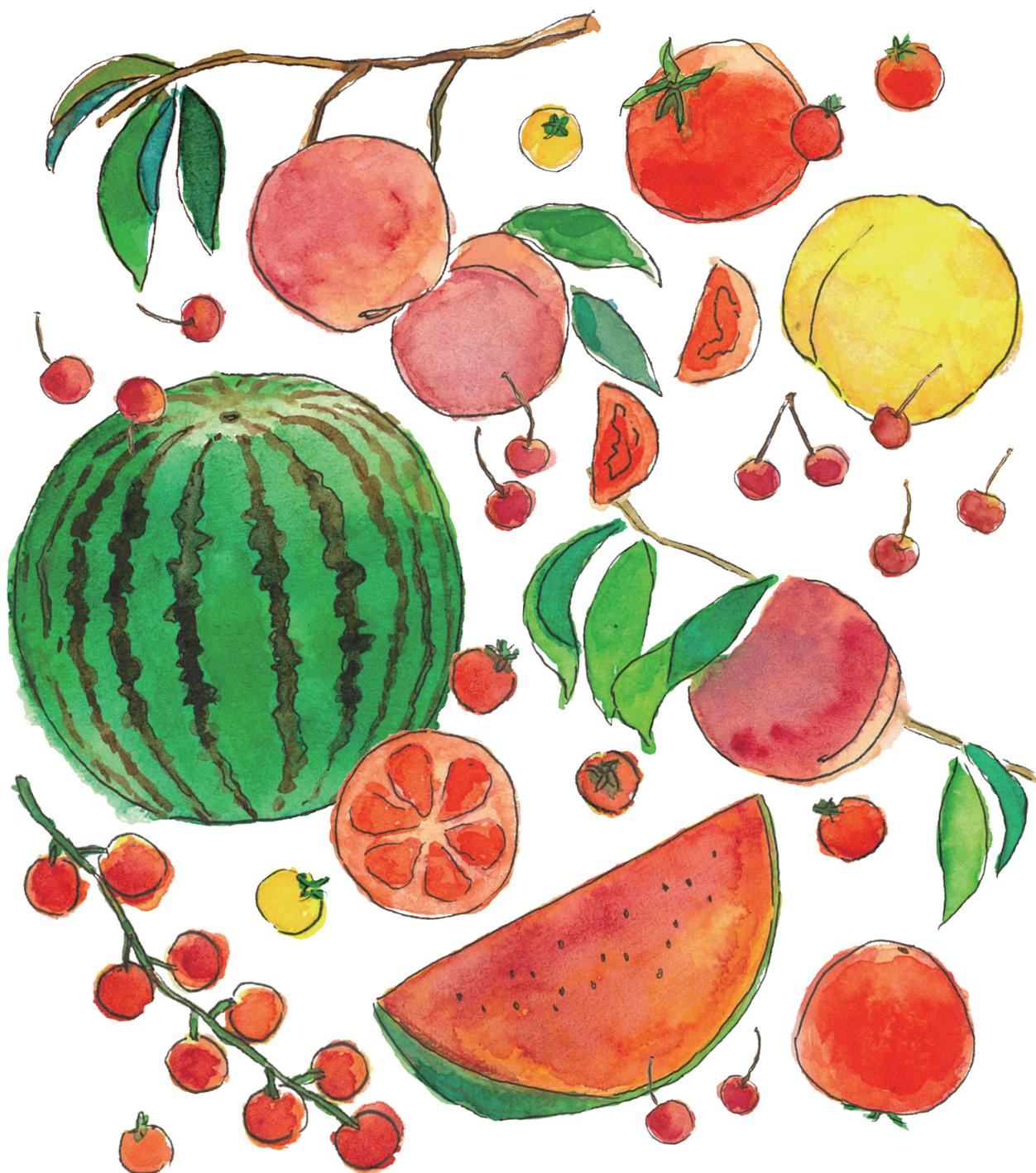


# 第2次 村山市6次産業化推進ビジョン

～ 地域資源を生かした6次産業化の展開 ～



令和4年度 ▶ 令和8年度

村山市

# 目 次

## 1. 6次産業化推進ビジョンの策定にあたって . . . . . 1

- (1) 策定の趣旨 . . . . . 1
- (2) 位置づけ . . . . . 1
- (3) ビジョンの期間 . . . . . 1
- (4) 進行管理 . . . . . 1

## 2. 村山市の産業及び6次産業等についての現状と課題 . . . . . 3

- (1) 主な産業の概況 . . . . . 3
- (2) 社会経済情勢の変化 . . . . . 6
- (3) これまでの成果と課題 . . . . . 8

## 3. 6次産業化の取組方針 . . . . . 16

## 4. 重点的に活用を図るべき農産物 . . . . . 16

## 5. 6次産業化推進のための施策 . . . . . 17

- (1) 6次産業化ネットワークの確立 . . . . . 17
- (2) 農林漁業者自らの6次産業化 . . . . . 18
- (3) 農商工連携等の推進 . . . . . 19
- (4) 地域資源を活用した農観連携の推進 . . . . . 20
- (5) 販路拡大・需要開拓の推進 . . . . . 21

附属資料 村山市6次産業化推進協議会名簿 . . . . . 24

村山市6次産業化推進協議会作業部会名簿 . . . . . 25

## 1. 6次産業化推進ビジョンの策定にあたって

### (1) 策定の趣旨

本市では、平成29年度（2017年度）に村山市6次産業化戦略構想を策定し、本市における農産物及び自然環境などの豊富な地域資源を生かした取組方針・施策を展開し、6次産業化の進展に取り組んできました。

一方で、人口減少をはじめとする社会経済情勢の変化、農業者の高齢化及び担い手不足など地方を取り巻く状況が厳しさを増している中、農林漁業の持続的かつ健全な発展及び地域活性化を図るために、地域資源を有効に活用して、農産物等の付加価値を高める「6次産業化」を推進していくことがますます重要となっています。

村山市6次産業化推進ビジョン（以下「ビジョン」という。）は、本市における6次産業化の現状や取り巻く情勢を踏まえ、今後の取組の方向性や具体的な施策を示し、農林漁業者や食品製造業者、関係団体等が一体となって6次産業化を推進するために策定するものです。

### (2) 位置づけ

ビジョンは、本市の上位計画である「第5次村山市総合計画」及び「村山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」並びに「村山市農林業の方向性」の下部計画として、6次産業化の推進に関わる具体的施策として位置付けるものとします。

### (3) ビジョンの期間

このビジョンの期間は、令和4年度から令和8年度までの5年間とし、期間中に状況の変化などが生じた場合には、必要に応じて見直しを行います。

### (4) 進行管理

計画期間中において、施策の実施状況や成果指標の達成状況を把握するとともに、必要に応じて内容の見直しや改善を図るものとします。

## 【ビジョンにおける6次産業化】

6次産業化とは、農林漁業者が自ら加工品をつくり販売していくことだけに着目されがちですが、本来の目的は、農林水産物をはじめとする地域資源に加工やサービスの付加価値を加えることで、新しい価値のある商品や利益が生まれる仕組みを目指すことです。

本ビジョンでは、農林漁業者が農林水産物を加工し、それを販売することにとどまらず、他の産業との連携による相乗効果が期待できる「農商工連携」や農業と観光の連携による地域活性化を目指す「グリーン・ツーリズム」（農観連携）の取組など、あらゆる取組を幅広く含むものとします。

### 6次産業化とは

農林漁業者等が、農林水産物の生産（1次産業）に加え、加工等（2次産業）、商品の販売やサービスの提供（3次産業）を総合的かつ一体的に行うことで、新たな付加価値を生み出し、農業や地域の活性化を目指す取組。

### 農商工連携とは

農林水産物をはじめとする地域資源を有効活用し、農林漁業者と商工業者の方々がお互いの「技術」や「ノウハウ」を持ち寄り、新商品やサービスの開発・提供や販路拡大などに取り組むこと。

### グリーン・ツーリズムとは

農山漁村に滞在し、農業体験等を楽しみ地域の人々との交流を図る余暇活動のことで、自然体験や農業体験などを通じて当該地域に興味・関心を持ってもらう取組。



大谷地沼（じゅんさい沼）村山市富並

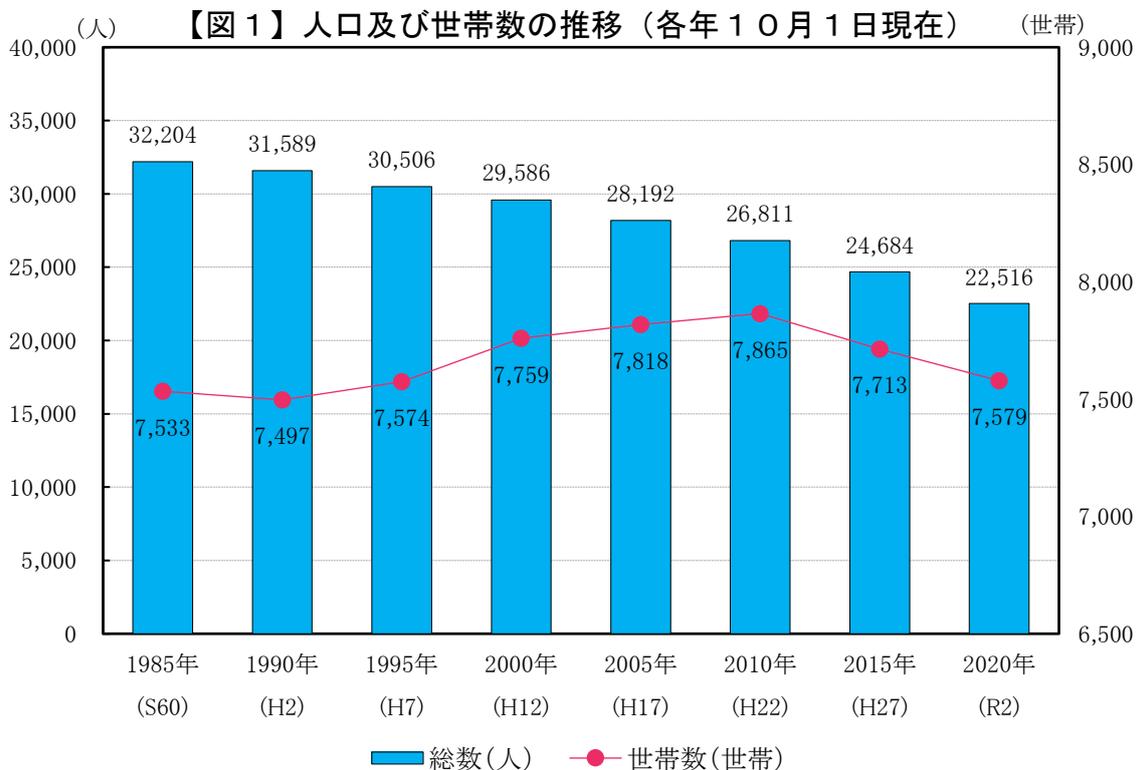
## 2. 村山市の産業及び6次産業等についての現状と課題

### (1) 主な産業の概況

本市は、東を奥羽山脈（甕岳）、西を出羽丘陵（葉山）に囲まれ、中央に母なる川「最上川」が流れる自然豊かなところです。農業は、水稻を中心として果樹、野菜などの高収益園芸作物を組み合わせた複合経営や畜産等を主体に営まれており、中でもサクランボやスイカは、寒暖差の影響を受け良質で甘みも強く市場で高い評価を受けています。

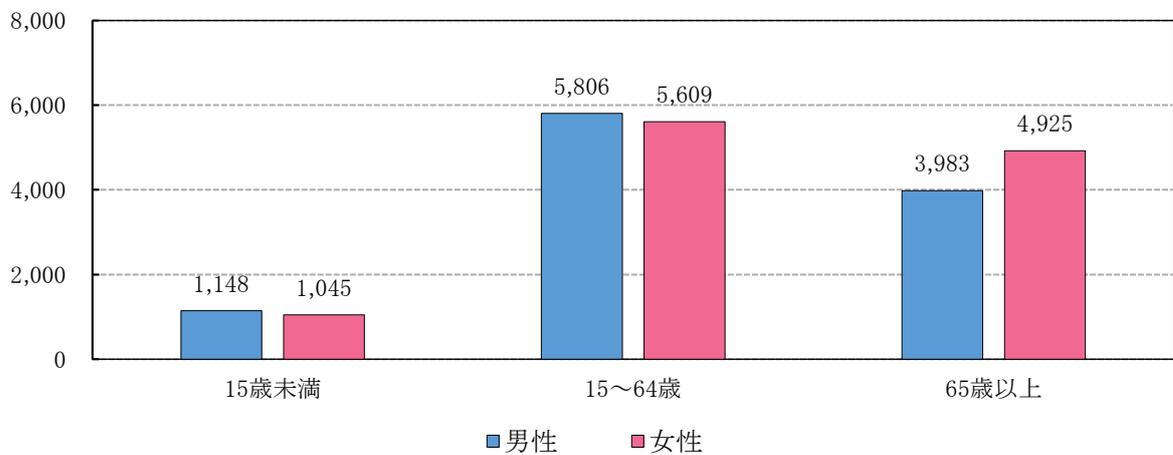
本市の就業人口は、昭和40年代までは、農業（第1次産業）が就業人口の半数以上を占めていましたが、産業構造の変化に伴い昭和60年から平成12年までは、製造業を中心とした第2次産業の割合が多く、本市の産業を支えるものとなっています。

一方、観光では、近年「そば・バラ・徳内ばやし」の三本柱の他に「居合道発祥の地」という地域資源を生かした着地型観光を推進しており、豊富な地域資源を活用した農業と観光の連携にも力をいれています。



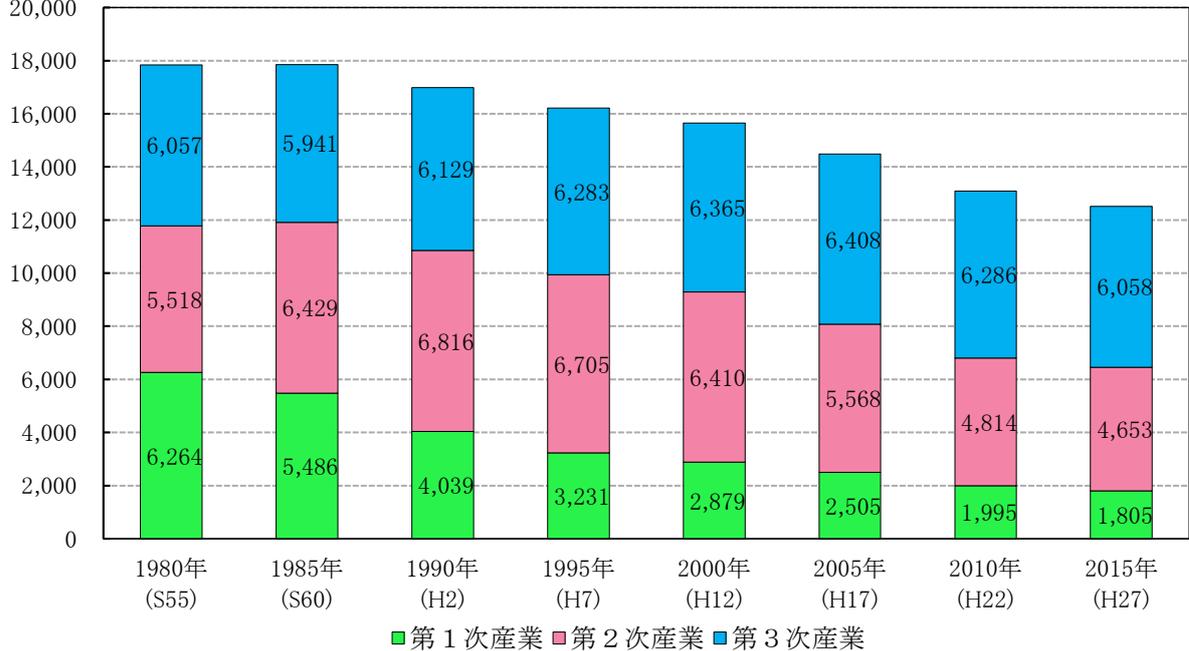
資料：総務省「国勢調査」

【図2】年齢別人口（令和2年10月1日現在）



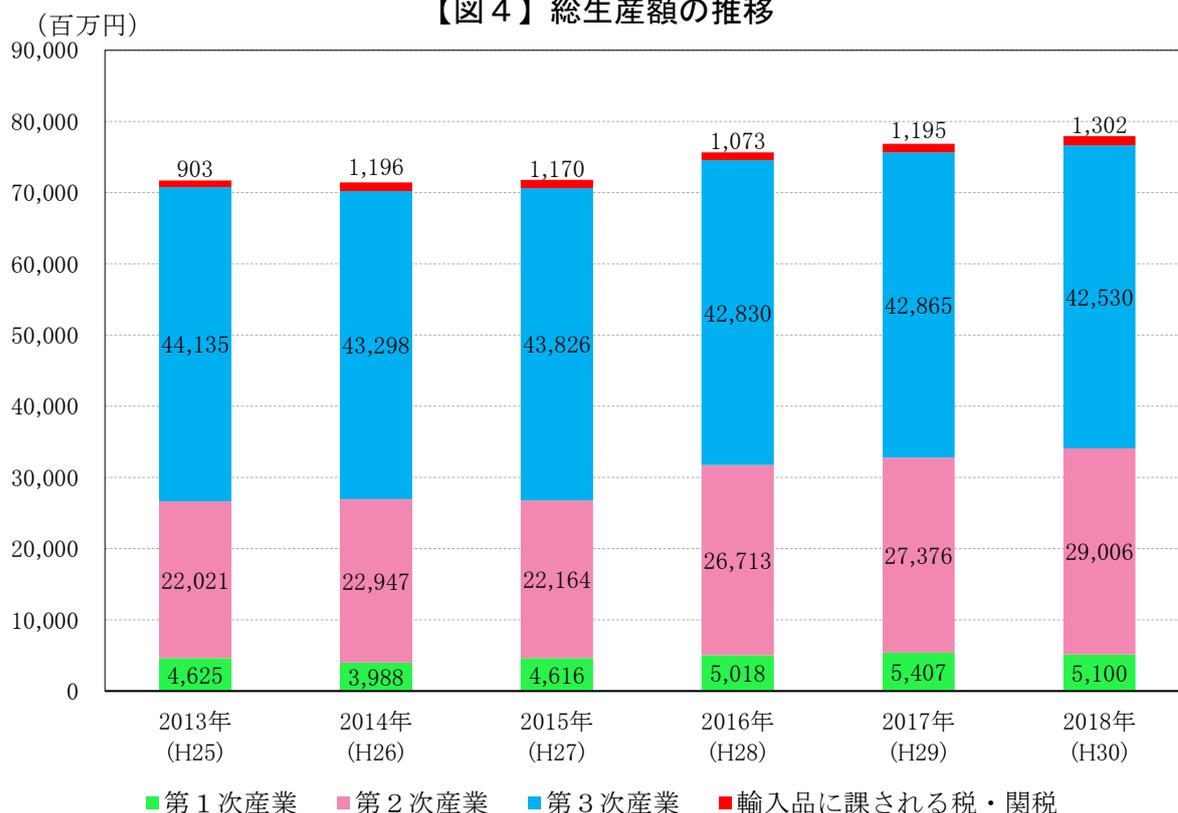
資料：総務省「国勢調査」

【図3】産業別就業人口の推移



資料：総務省「国勢調査」

【図4】総生産額の推移



資料：山形県市町村民経済計算

総生産額の内訳 (単位：百万円)

区分	2013年 (H25)	2014年 (H26)	2015年 (H27)	2016年 (H28)	2017年 (H29)	2018年 (H30)
(1) 農林水産業	4,625	3,988	4,616	5,018	5,407	5,100
a 農業	4,602	3,965	4,592	4,995	5,383	5,077
b 林業	21	20	21	21	22	22
c 水産業	3	3	3	2	2	2
(2) 鉱業	6	6	6	0	0	0
(3) 製造業	17,723	18,970	18,675	21,829	21,970	23,169
(4) 建設業	4,292	3,971	3,483	4,884	5,406	5,837
(5) 電気・ガス・水道・廃棄物処理業	1,183	1,221	1,223	1,220	1,236	1,263
(6) 卸売・小売業	4,876	4,702	4,789	4,751	4,819	4,679
(7) 運輸・郵便業	1,353	1,338	1,302	1,240	1,250	1,235
(8) 宿泊・飲食サービス業	1,050	1,046	1,110	1,270	1,308	1,259
(9) 情報通信業	1,389	1,350	1,343	1,341	1,293	1,345
(10) 金融・保険業	2,479	2,018	1,989	1,836	1,850	1,875
(11) 不動産業	9,126	8,672	8,589	8,544	8,498	8,416
(12) 専門・科学技術、業務支援サービス業	2,202	2,124	2,180	2,259	2,287	2,297
(13) 公務	6,564	6,597	6,697	6,516	6,395	6,332
(14) 教育	5,072	5,721	5,787	5,004	5,021	4,921
(15) 保健衛生・社会事業	6,055	5,873	6,089	6,194	6,205	6,307
(16) その他のサービス	2,786	2,636	2,728	2,655	2,703	2,601
(17) 小計	70,779	70,235	70,606	74,560	75,649	76,636
(18) 輸入品に課される税・関税	903	1,196	1,170	1,073	1,195	1,302
(19) (控除) 総資本形成に係る消費税	416	533	698	816	812	808
(20) 市内総生産	71,266	70,898	71,079	74,817	76,033	77,131
再掲						
第1次産業 (1)	4,625	3,988	4,616	5,018	5,407	5,100
第2次産業 (2)～(4)	22,021	22,947	22,164	26,713	27,376	29,006
第3次産業 (5)～(16)	44,135	43,298	43,826	42,830	42,865	42,530

## (2) 社会経済情勢の変化

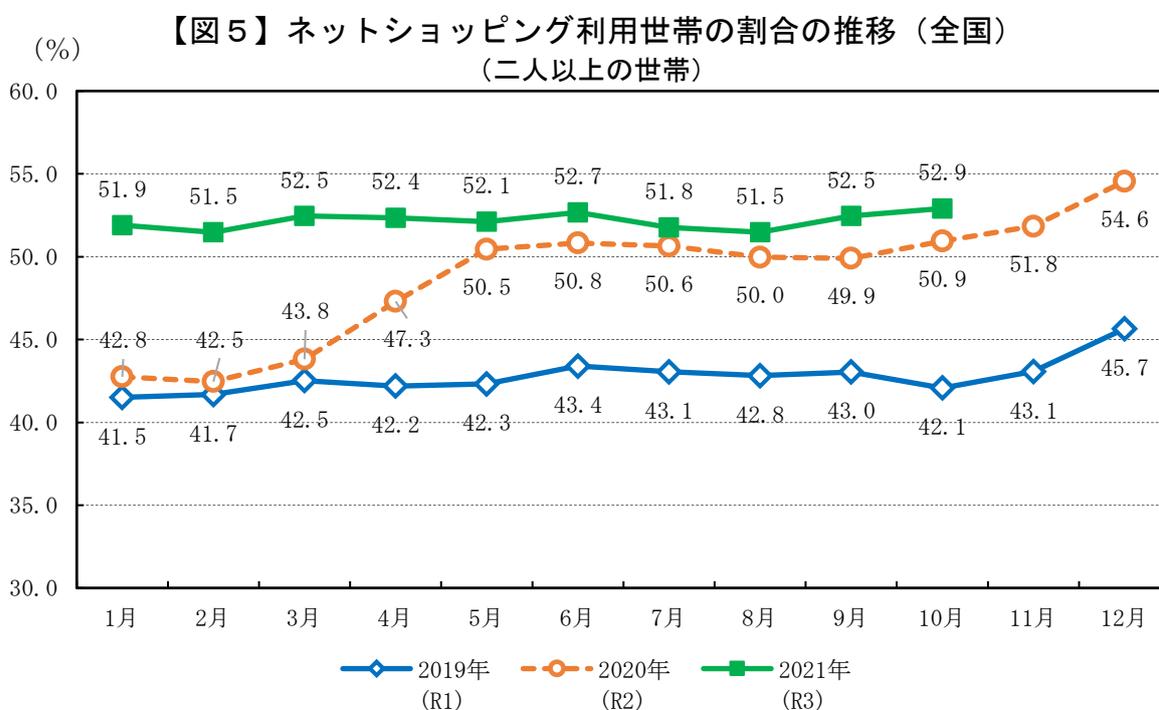
### ① 新型コロナウイルスとの共存

令和元年に発生が確認された新型コロナウイルス感染症は、世界的な大流行となり、世界規模で社会的・経済的に大きな影響をもたらしました。

日本国内においても、令和2年1月に感染が確認されて以降は、感染拡大防止のため、都道府県をまたぐ自由な移動が制限され、一部業種の営業自粛が要請されるなど市民生活や地域経済などに大きな影響をもたらしました。

一方で、外出自粛によりインターネットを使用した買い物の利用が拡大しており、総務省が公表した家計消費状況調査によると、ネットショッピングを利用した世帯の割合は、令和2年5月に初めて5割を超え令和3年10月時点で52.9%と高水準を維持しており、一過性の事象ではないことが見て取れライフスタイルの変化がうかがえます。

今後、新型コロナウイルスの影響を受けた市民生活と地域経済の回復を進めるとともに、新型コロナウイルスとの共存が長期化することを念頭に置き、販売チャネルの多様化などに対応する柔軟性のある取組が必要です。



資料：総務省「家計消費状況調査」

## ② 6次産業化をめぐる制度的変化

平成27年4月1日に食品表示法が施行され、食品衛生法、JAS法及び健康増進法の三法に規定されていた食品表示に関する基準が統合になり、加工食品は、令和2年4月1日に新しい食品表示制度に基づく表示へ完全移行されました。

また、平成29年9月に食品表示基準が改正・施行され、国内で作られたすべての加工食品に対して、原料原産地表示を行うことが義務付けられました。

さらに、平成30年6月に改正された食品衛生法では、食を取り巻く環境の変化や国際化などに対応し、食品の安全を確保するため6次産業化に取り組む事業者を含む、原則すべての事業者にはHACCP（ハサップ）※<sup>1</sup>に沿った衛生管理が求められ、令和3年6月1日に本格施行されました。

## ③ SDGs（持続可能な開発目標）への取組

平成27年9月の国連サミットにおいて、全会一致で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に掲げられた、「SDGs（持続可能な開発目標）」として17のゴールとその課題ごとに設定された169のターゲット（達成基準）から構成されています。地球上の「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済・社会・環境をめぐる広範な課題に統合的に取り組むことが求められています。

本市においては、SDGs※<sup>2</sup>の達成に資する地域資源を豊富に有しており、目標達成に向けた取組を推進していくことで、他の産業や地域内での連携が生まれ、さらには、持続可能な農業や地域づくりにつながることを期待されます。



※<sup>1</sup> HACCP：原材料の入荷から製造・出荷までの全ての工程においてあらかじめ危害を分析し、製造において重要な工程を連続的に監視することにより、製品の安全性を保証しようとする衛生管理の手法。

※<sup>2</sup> SDGs：2015年（平成27年）9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。

### (3) これまでの成果と課題

「村山市6次産業化戦略構想」(平成29年度～令和3年度)における主な取組の成果と課題は次のとおりです。

#### ① 異業種とのグループ形成による6次産業化

##### 〔具体的施策〕

- 農業者と商工業者のマッチング支援

##### 〔成果指標〕

指標名	策定時(H28)	目標値(R3)	実績(R2)
マッチング支援による連携体数	0件	6件	7件
異業種交流会の開催回数	0回	4回	1回

##### 〔成果と課題〕

- ・各産業における生產品目などのデータベース化までは至っていないが、市6次産業化推進協議会作業部会を通じて情報収集を行っています。
- ・平成30年度に、6次産業化の普及を図ることを目的とした「村山市6次産業化推進フォーラム」において、6次産業化プランナーに参加してもらい商品開発などのアドバイスを受けました。
- ・令和元年度に、農業者・商業・工業が連携した「ふるさと産業フェア」を開催し、異業種との交流を図ることができました。

##### 〔今後の見通し・展望〕

- ・農業者とバイヤーの交流・マッチングの場が不足しているため、機会を設けられるように調整、検討が必要です。
- ・引き続き農商工が連携した「ふるさと産業フェア」を実施し異業種との連携を推進します。

## ② 農業者を起点とする6次産業化

### 〔具体的施策〕

- 産地直売所の振興
- 農産加工施設の振興
- 振興作物の創出

### 〔成果指標〕

指標名	策定時(H28)	目標値(R3)	実績(R2)
振興作物を活用した6次産業化商品数	0件	5件	1件
新たな常設型産地直売所開設件数	3件	1件	1件
新たな農産加工施設開設件数	—	2件	2件

### 〔成果と課題〕

- ・専門家派遣による市内産直施設運営者を対象とした研修会を開催し、市内産直の魅力向上を図りました。
- ・移動式産直「からほろマルシェ」事業の定期市化を図り市内農産物等のPRを図ることができました。
- ・加工施設開設費用にも活用可能な補助事業を制定し、加工施設に必要な設備関係の導入支援を図りました。
- ・令和元年度に農産物の加工等に関するニーズ調査<sup>※3</sup>を行った結果、生産や出荷だけで忙しく加工まで手が回らないという意見が多くありました。
- ・令和元年度に重点作物4品目（サクランボ、モモ、スイカ、トマト）を選定し、産地化やブランド化、所得向上を目指した取組を開始し、翌年度に重点作物推進協議会を設立しました。

### 〔今後の見通し・展望〕

- ・市内産直施設運営者を対象とした研修会などを企画し、市内産直施設全体の資質向上及び人材育成を図ります。
- ・重点作物推進事業の中でハウスリース事業を摸索しており、関係機関と連携し園芸施設への支援について検討が必要です。
- ・共同加工施設について、一定のニーズはあるため類似施設の利用状況など引き続き情報収集に努めます。
- ・重点作物推進協議会を中心に、産地化、販路拡大及び6次産業化事業の展開を行います。

※3 13 ページに調査内容（図6）を別記載。

### ③ 売れるモノづくり支援

#### 〔具体的施策〕

- 商品開発への支援
- 販路開拓への支援
- 村山ブランド化事業の推進

#### 〔成果指標〕

指標名	策定時(H28)	目標値(R3)	実績(R2)
6次産業化商品開発数	0件	10件	21件
ビジネス商談会の開催回数	0回	3回	0回

#### 〔成果と課題〕

- ◆商品開発費用に活用可能な補助事業を制定し、機動性のある支援を行いました。
- ◆食品加工マニュアルの作成は実施できていないが、県で作成した6次産業化支援マニュアルを活用し必要に応じ周知を行いました。
- ◆県や関係機関等が主催している商談会について、作業部会などを通じ情報提供を行う一方で、市や協議会などが主体となった商談会の実施について検討が必要です。
- ◆6次産業化推進協議会において、むらやまブランド認証事業等について検討したが、具体的な方針等は形成されていないため継続した検討が必要です。

#### 〔今後の見通し・展望〕

- ◇必要とされる商品及び売れる商品の開発と既存商品のブラッシュアップにつながる取組について支援を行います。
- ◇6次産業化商品開発に係る支援について、引き続き支援を行い商品開発力の向上を図ります。
- ◇食品製造業や外食産業と連携し、交流・マッチングの機会を設けられるよう調整、検討します。
- ◇ウィズコロナに対応したネット販売の導入を進めるためセミナーの開催等により販路拡大の支援を検討します。

#### ④ みんなで考え、広げる6次産業の輪

##### 〔具体的施策〕

○人材育成事業

##### 〔成果指標〕

指標名	策定時(H28)	目標値(R3)	実績(R2)
フォーラム開催回数	1回	2回	4回
6次産業化セミナー開催回数	0回	2回	7回
輸出セミナー開催回数	1回	2回	0回

##### 〔成果と課題〕

- ◆平成28年度から「村山市6次産業化推進フォーラムMur a 6<sup>ログ</sup>」を開催し、市民への普及と機運醸成を図りました。
- ◆山形6次産業化サポートセンター<sup>\*4</sup>から専門家を招き、6次産業に係る基礎的な内容の講座を開催しました。
- ◆6次産業化推進協議会において、実践的な加工技術研修会を開催し人材の掘り起こしを図りました。
- ◆人材の掘り起こしを図るため講座や研修会に参加した方に対するフォローアップが必要です。

##### 〔今後の見通し・展望〕

- ◇これまでの取組により、6次産業化に対する理解が進んでいるため引き続き6次産業化の普及と人材育成の取組を実施します。
- ◇6次産業化に携わる中心的な人材を確保し、6次産業化に関する情報を発信する取組が必要です。
- ◇農業者とバイヤーの交流・マッチングの場が不足しているため、機会を設けられるように調整、検討が必要です。

※4 山形6次産業化サポートセンター：農林漁業者による6次産業化の取組の支援を目的に、公益財団法人やまがた農業支援センター（山形市）内に開設された支援機関。

## ⑤ 農業と観光のコラボレーション

### 〔具体的施策〕

○グリーン・ツーリズムの推進

### 〔成果指標〕

指標名	策定時(H28)	目標値(R3)	実績(R2)
新規農業体験受入農家・団体件数	5件	10件	18件
新たなツアー企画数	6件	10件	21件
新たな農家民宿・農家レストラン開設数	5件	2件	1件

### 〔成果と課題〕

- ◆グリーン・ツーリズムの推進として令和元年度より「アグリランドむらやま<sup>※5</sup>」事業を展開し、ネットワーク形成を図りました。
- ◆（一社）村山市観光物産協会に委託し、農業体験プログラムの創出や収穫体験協力農家などの掘り起こしを図りました。
- ◆温泉熱利用を目的に地熱開発に係る自治体連絡会議（事務局：経済産業省東北経済産業局）に参加し情報収集を行いました。

### 〔今後の見通し・展望〕

- ◇農観連携による取組を展開していくため、実施体制の強化、農業体験メニューの拡充を図ります。
- ◇他分野・他産業などと連携し、豊富な地域資源を活かし、交流人口・関係人口の拡大を図ります。

※5 アグリランドむらやま：市内に点在する自然、景観、農業、食文化といった地域資源や、既存の農業関連施設や観光施設を結び付け、市全体をいわゆる「体験型テーマパーク」に見立てて、観光誘客を図り、また市全体の産業活性化を図ること。

【図6】農産物の加工等に関するニーズ調査票

【農産物の「加工」等に関するアンケート】のお願い

このアンケートは、6次産業化の取組みを推進していくため、農産加工の取組み現状や農産加工における課題、加工に必要な機器や施設へのニーズ等を把握させていただくことを目的としております。皆様のご協力をお願いいたします。

問1. 現在、農産物（野菜や果物）を加工して販売していますか？

- ①自家消費分として加工しているため、販売していない。(→問2へ)
- ②販売用として加工している。(→問2へ)
- ③加工に関心はあるものの、取り組んでいない。(→問3へ)
- ④加工の取組みに関心がない。(→以上で設問は終わりです。)

問2 農産物（野菜や果物）をどのようなものに加工していますか。(複数回答可)

- そう菜類  菓子類  漬物  ジャム等
- その他(自由記載: )

問3 農産物の加工に取り組む際、何が課題だと思いますか。(複数回答可)

- 農産物の生産や出荷で忙しく、加工まで手が回らない。
- 加工するための機器類が高額で、加工に踏み出せない。
- 加工する場所がないので取り組めない。
- 保健所などへの届出、許可などがよくわからない。
- 加工品を作っても売れなければ在庫を抱えると思うと抵抗がある。
- その他(自由記載: )

問4 現在あるいは今後、どのような加工機器が必要と感じますか。(複数回答可)

- 「スライサー」「フードプロセッサー」など原料をカットする機器
- 「ミルサー」「製粉機」など原料を粉砕する機器
- 「回転釜」「コンベクションオープン」「食品乾燥機」など原料を加熱・乾燥調理する機器
- 加工品を包装する機器
- その他(自由記載: )
- 特にない

問5 加工用機器・施設があればどのようなものを作りたいですか。(複数回答可)

- そう菜類  菓子類  漬物  ジャム等
- その他(自由記載: )  特にない

ニーズ調査の概要

【実施期間】 令和2年2月21日から令和2年3月13日まで

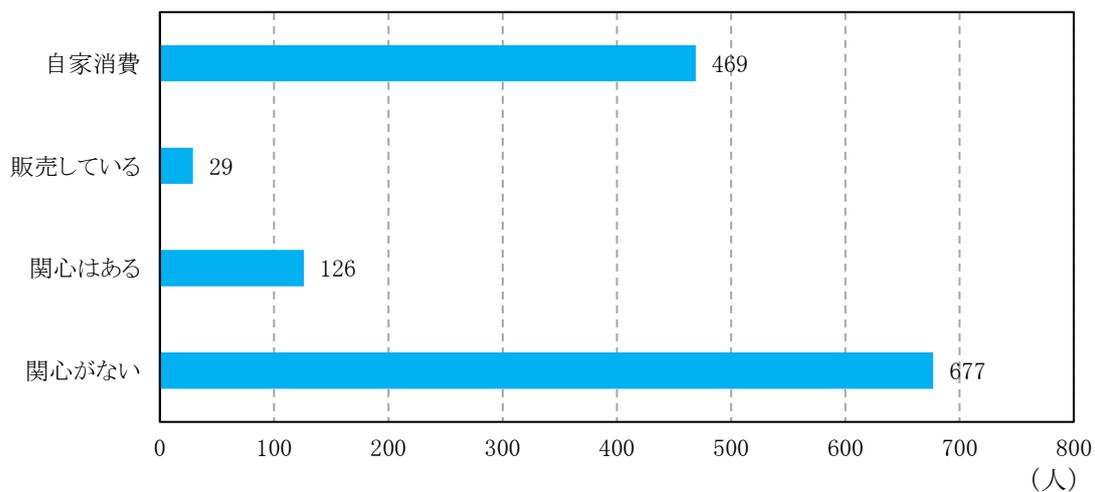
【対象者】 市内農業者2,243人

【回答率】 合計1,285人から回答があり、回答率は57.3%

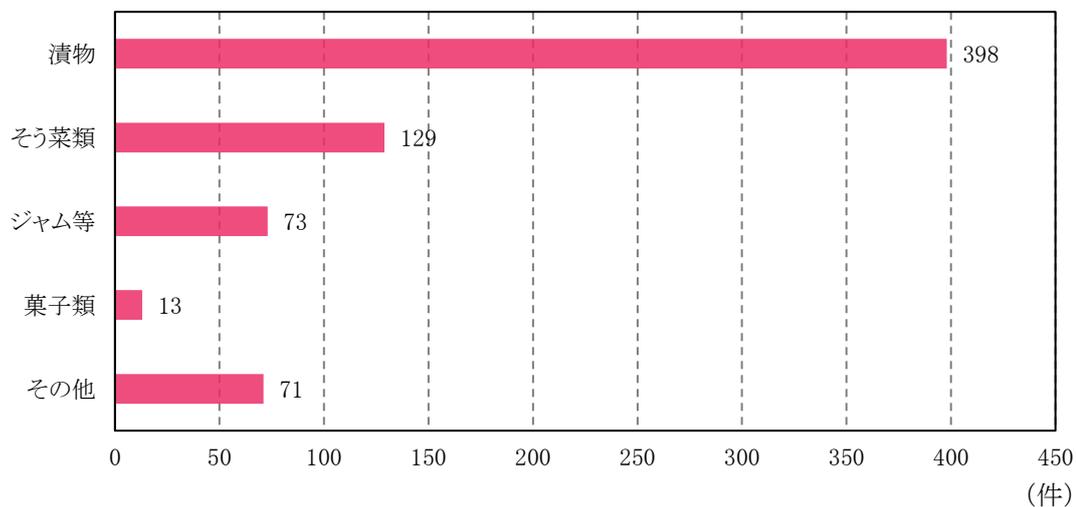
【調査結果】 次ページ以降に記載

## 【ニーズ調査の結果】

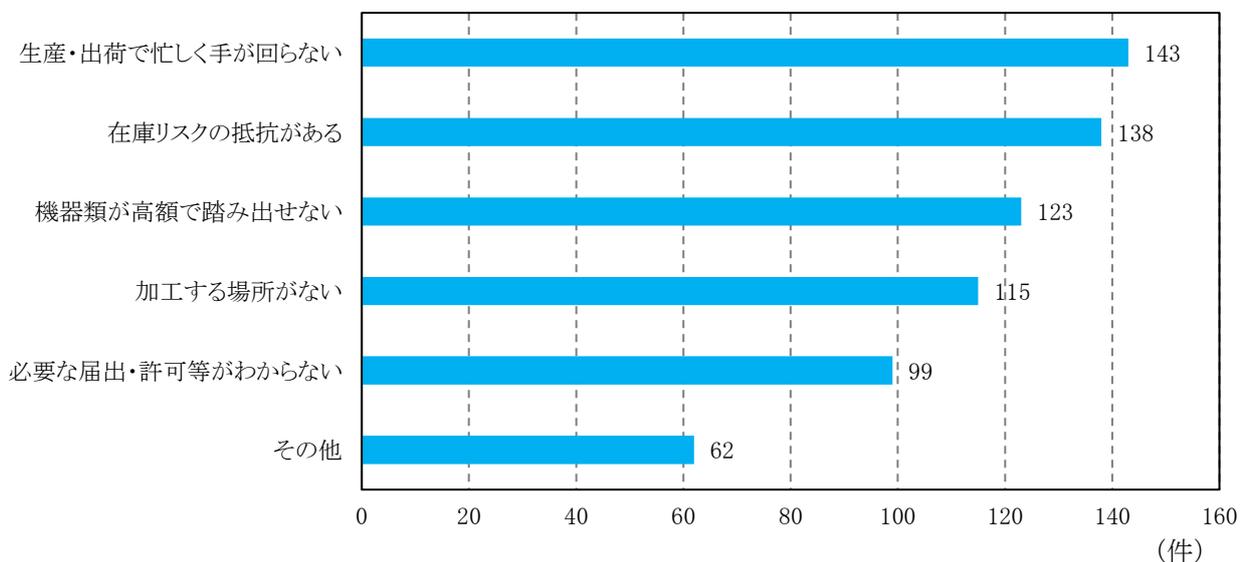
設問1 現在、農産物を加工して販売していますか。



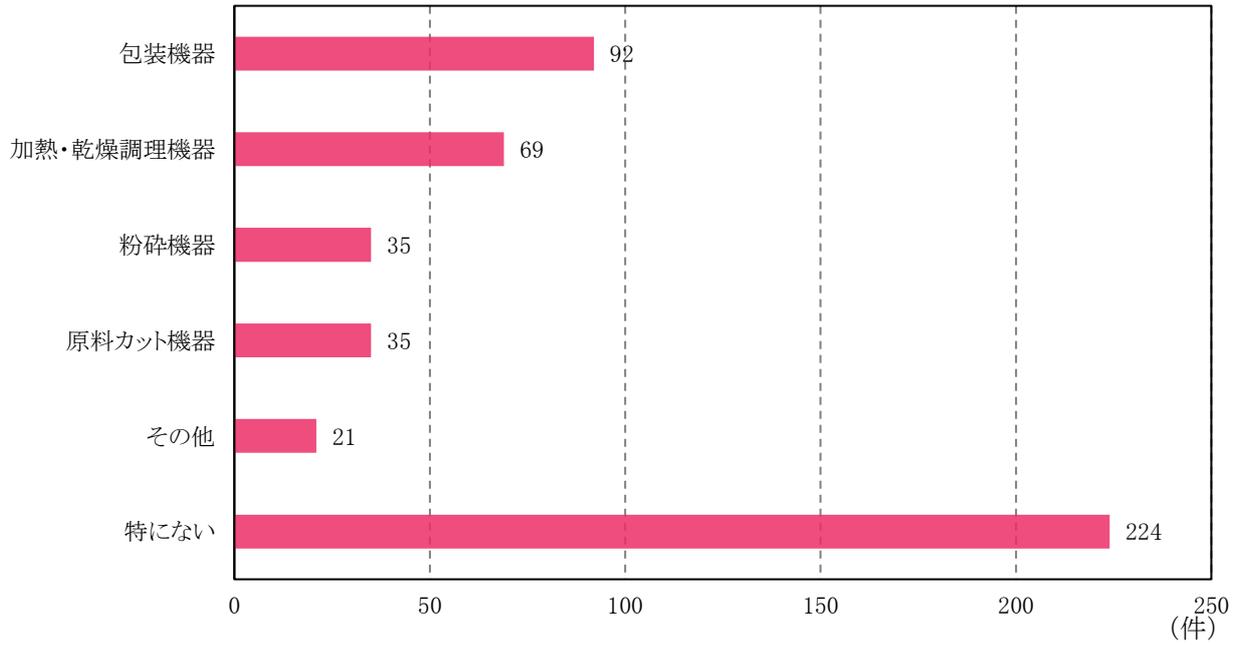
設問2 農産物をどのようなものに加工していますか。



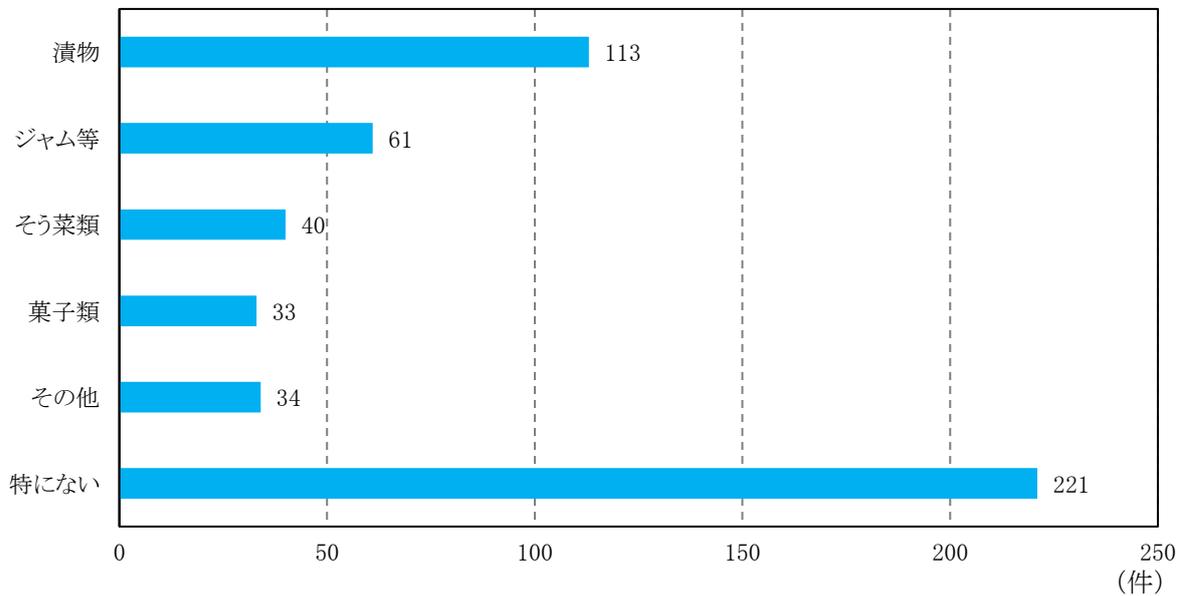
設問3 農産物の加工に取り組む際、何が課題だと思いますか。



設問4 現在あるいは今後、どのような加工機器が必要と感じますか。



設問5 加工施設や加工機器があれば、どのような加工品を作りたいですか。



### 3. 6次産業化の取組方針

本市全体の産業活性化を図るため、農業者・工業者・商業者・教育機関等をはじめとする多様な主体と連携し、魅力ある商品開発や新たな販路開拓など6次産業化への意識醸成と人材育成を推進します。さらには、市内に点在する豊富な地域資源を最大限に生かした取組を進め、6次産業化の輪を広げ、市内全体へ波及させていくことで地域の稼ぐ力と雇用創出を図り、持続可能な農業と地域活性化を目指します。

### 4. 重点的に活用を図るべき農産物

本市は、高品質で多品目の農産物や地域の伝統的な食文化（郷土料理）のほか、魅力ある豊富な地域資源があり、こうした有形・無形の地域資源は全て6次産業化に活用できるものです。

このため、農産物を始めとした豊富な地域資源の魅力を最大限に生かした6次産業化の推進に当たっては、市内で生産されるすべての農林水産物・地域資源を対象にすることを基本に、特に活用を図るものについては、次のとおりとします。

#### （1）重点作物

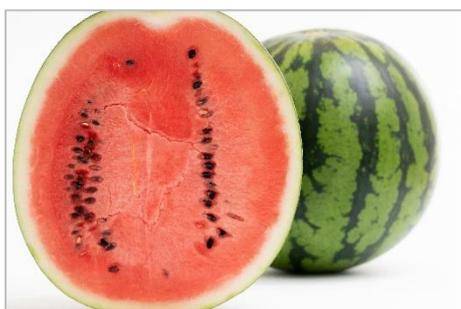
サクランボ、モモ、スイカ、トマト

#### （2）準重点作物

米、リンゴ、プルーン、サトイモ、キュウリ、タラノメ

#### （3）地域資源を生かした農産物

ソバ、バラ、天然ジュンサイ など



## 5. 6次産業化推進のための施策

本市の産業及び6次産業化における現状・課題を踏まえ、市独自の施策を実施するとともに、国、県等がそれぞれにおいて地域資源を活かし有機的に連携させることで農林水産業を起点とした新たな価値を創出する施策を展開しており、これらの施策を最大限に活用しながら、本市にあった事業の内容や規模等に応じた施策を行います。

### 施策1 6次産業化ネットワークの確立

#### (1) 6次産業化フォーラム等の開催

市内における6次産業化の普及、意識醸成及び人材発掘を進めるため、引き続き6次産業化フォーラムの開催と人材育成を図る加工技術研修会を開催します。

#### (2) サポート体制の整備と情報発信

市を窓口にも、市6次産業化推進協議会の組織、県の支援機関等との有機的な連携によりサポート体制を整え、SNS等を活用し6次産業化に係る情報発信を実施します。

#### 〔成果指標〕

指標名	基準値 (R2)	目標値 (R8)	設定根拠
加工技術研修会を通じて自らが6次産業化に取り組んだ件数	0件	6件	年間1件を目標値として設定
市6次産業化推進協議会公式ツイターのフォロワー数	—	350件	年間50件を目標値として設定



コロナ対策をして開催した6次産業化推進フォーラム



加工技術研修会の様子

## 施策2 農林漁業者自らの6次産業化

### (1) 重点作物の活用と推進

重点作物の産地化に向けた支援策を継続的に行い、重点作物を活用した特色のある商品開発への支援を実施します。

### (2) 6次産業化設備等への支援と拠点施設の検討

農林漁業者等が継続的かつ安定的に6次産業化に取り組めるよう必要な設備整備等への支援を行い、共同利用加工施設の整備に向けた調査研究を行います。

#### 〔成果指標〕

指標名	基準値 (R2)	目標値 (R8)	設定根拠
重点作物を活用した新商品数	1件	7件	年間1件を目標値として設定
6次産業化支援事業費補助金利用件数(延べ)	21件	33件	年間2件を目標値として設定



リュテニツァ※6を使用した米粉パン



市補助金を活用し設置した加工施設の看板

※6 リュテニツァ：村山市が東京オリンピック・パラリンピックのホストタウンとなったブルガリア共和国の家庭料理で、市の重点作物として産地化に取り組む「トマト」とパプリカをベースとした保存食。

### 施策3 農商工連携等の推進

#### (1) 農林漁業者と商工業者等とのマッチング

地元企業と生産者団体等とのマッチングや異業種間等が交流する機会を設け、新たなビジネスの創出につなげる取組を行います。

#### (2) 農商工連携等の取組による商品開発

多様化する消費者ニーズを的確に捉えるため、幅広い分野で地元企業と連携し必要とされる商品などブランド化も視野に入れ新たな商品開発の支援を行います。

#### 〔成果指標〕

指標名	基準値 (R2)	目標値 (R8)	設定根拠
新製品(商品)開発件数	7件/年度	2件/年度	年間2件を目標値として設定
農商工連携等の回数(産業フェア、マッチング交流会など)	0回	6回	年間1回を目標値として設定



市内産のバラを使用して作られた化粧水等



農商工が連携して実施した「ふるさと産業フェア」

## 施策4 地域資源を活用した農観連携の推進

### (1) グリーン・ツーリズムの推進

農観連携「アグリランドむらやま」事業を展開していくため、実施体制の確立、農業体験プログラムの充実や地域資源の連携強化を図ります。

### (2) 産地直売施設の振興

市内産直施設のネットワーク化及び移動式産直の普及を図り、魅力ある産直の創出につなげる取組を行います。

#### 〔成果指標〕

指標名	基準値 (R2)	目標値 (R8)	設定根拠
アグリランド事業体験ツアー企画参加者数	612 人/年度	4,500 人/年度	ツアー企画1件あたり参加者150人とし、年間30件のツアー企画を目指す。
産地直売所販売額	7,023 万円	7,865 万円	5年間で1割増を目標値として設定



親子参加型の収穫体験プログラム



令和2年にオープンした道の駅むらやま農産物直売所

## 施策5 販路拡大・需要開拓の推進

### (1) 多様なチャネルを活用した取組の推進

ネット販売やふるさと納税などのeコマース<sup>※7</sup>（EC）の活用を推進し、異業種間等が交流する機会を設け販路拡大につなげる取組を行います。

### (2) 販路拡大に向けた商談機会への支援

売れる商品づくりと流通・食品製造業者等とのマッチング機会を創出するため、県などが主催する商談会や展示会への出展を支援し、関係機関と連携した情報収集及びSNS等を活用した情報発信を行います。

#### 〔成果指標〕

指標名	基準値 (R2)	目標値 (R8)	設定根拠
ふるさと納税の農産加工品件数 (延べ)	9品目	15品目	年間1品目増を目標値として設定
市6次産業化推進協議会公式ツ イッターのフォロワー数(再掲)	—	350件	年間50件を目標値として設定



ふるさと納税の返礼品として出品された加工品の例



上：村山市6次産業化推進協議  
会作業部会公式ツイッター  
右：公式ツイッターQRコード



※7 eコマース：「Electronic Commerce」の頭文字をとったもので、インターネット上で商品やサービスの売買を行う電子商取引。



# 附属資料

## 村山市6次産業化推進協議会名簿

(令和4年3月時点)

No.	所属等	名前	備考
1	村山市長	志布 隆夫	会長
2	山形県村山総合支庁産業経済部 北村山農業技術普及課(普及推進主幹兼課長)	今田 孝弘	
3	山形県立村山産業高等学校(校長)	青柳 晴雄	
4	みちのく村山農業協同組合(代表理事組合長)	三浦 康彦	副会長
5	株式会社村山市余暇開発公社(代表取締役)	高橋 政則	
6	村山市商工会(会長)	高橋 辰雄	
7	村山市商工会女性部(部長)	齋藤 京子	
8	村山市農業委員会(会長)	青柳 篤	
9	村山市農業士会(会長)	石山 公己	監事
10	村山市認定農業者連絡協議会(会長)	太田 一男	
11	一般社団法人村山市観光物産協会(会長)	平 良悦	
12	日本貿易振興機構(ジェトロ) 山形貿易情報センター(所長)	阿部 道太	
13	村山菓子工業組合(代表)	布川 淳一	公募
14	農業	笹原 泉	公募
15	株式会社荘内銀行楯岡支店(支店長)	鈴木 康司	公募
16	こめやかた	坂井 奈緒	公募
17	株式会社山本製作所農機事業部	村田 健洋	公募
18	巻き巻きや	伊藤 保子	公募
19	農業	大山 拓也	公募
20	農業	緒方 慧生	公募
21	農業	高橋ゆかり	公募
22	農業	菊地裕之介	公募
23	農業	黒沼 友実	公募・監事
24	企業組合 OKUMAN 商品開発研究所	須藤 浩敏	公募

## 村山市6次産業化推進協議会 作業部会名簿

(令和4年3月時点)

No.	所属等	名前	備考
1	山形県村山総合支庁産業経済部 北村山農業技術普及課	那須 嘉寛	
2	山形県立村山産業高等学校	廣瀬 僚太	
3	みちのく村山農業協同組合 村山営農センター	折原めぐみ	
4	株式会社村山市余暇開発公社 道の駅むらやま	井上亜希子	
5	村山市商工会女性部	齋藤 京子	
6	村山市農業委員会	笹原 泉	
7	村山市農業士会	村岡 定治	
8	村山市認定農業者連絡協議会	柴田 雅和	
9	村山菓子工業組合	布川 淳一	公募
10	株式会社荘内銀行楯岡支店	鈴木 康司	公募
11	こめやかた	坂井 奈緒	公募
12	株式会社山本製作所農機事業部	村田 健洋	公募
13	巻き巻きや	伊藤 保子	公募
14	農業	大山 拓也	公募
15	農業	緒方 慧生	部会長・公募
16	農業	高橋ゆかり	公募
17	農業	菊地裕之介	公募
18	農業	黒沼 友実	公募
19	企業組合 OKUMAN 商品開発研究所	須藤 浩敏	公募
20	農穰おく山	奥山 拓	農業実践者
21	株式会社六兵衛工房	西山 元仁	農業実践者



村山市キャラクター  
ムララ

---

## 第2次村山市6次産業化推進ビジョン

発行／令和4年（2022年）3月

編集・発行／村山市農林課

〒995-8666

山形県村山市中央一丁目3番6号

TEL 0237-55-2111 FAX 0237-55-3728

---